

こだま新聞

第42号
平成11年4月

13区青年除雪隊結成

3月21日に13区町内会総会が児童館で行われた。

懇親会の席で、今年の大雪のことが話題となった。13区もお年寄りだけの家や男手のない家が増え、毎日の除雪がままならなくなっている。そこで、

町内の若者で少し手伝いをしないか」という意見が出て、今年のように大雪の時は除雪をお手伝いすることになった。

発起人は今回、懇親会に出席した、舘岡勝見氏、北島信義氏、児玉亮氏、菅生多嘉志氏、斉藤壽幸氏の5人。声かけ係（除雪の連絡）は北島信義氏にお願いした。今回、総会に参加できなかった若者にも連絡して協力をお願いするつもり。今年暮れの活動が期待される。

平成9年虫歯マップ

秋田県歯科医師会では今年3月に平成9年度の12歳児

中学1年生（虫歯マップを公表した。それによると、秋田県全体の平均では一人の虫歯数が平均で3.38本となっており、前年度3.35本よりもわずかに増加している。

男鹿市南秋田郡地区では男鹿市、五城目町、若美町が悪化しているが、その他の町は改善されている。八郎潟町は少しだが改善された。しかしそれでも4.15本と県の平均よりもかなり悪く、この地区でも悪い方から二番目となっている。秋田県では3.5本を目標としているが先は長い。この数値については集団歯科検診の結果であり歯科医院で正確に検査すれば実際にはもっと増加する。数値が低くなり改善されて来たことは喜ばしいが、更なる努力が要求されている。

まちづくり研究会

3月25日、ロマンの里にて八

郎潟町商工会青年部とメビウス共催の研究会が開催された。

コーディネーターとしてあゆかわのぼる氏に来ていただき、これからの八郎潟町について様々な角度から討議された。当日は八郎潟町町長始め教育長、北都銀行支店長、五城目信金支店長なども列席し、至まれて良かったこの町を『結構いいぞあの町も』『嫁婿から見たこの町』の三つのテーブルに別れ、討議していただいた。町長からは青年団長時代に一日市盆踊りのために活動したことについて、八郎潟町と井川さくら駅を比較した町の取り組みについてなどお話しいただいた。

嫁婿チームからは『囃がオヒレを付けて広がる、下そ者が出しやばるな』といわれる、現在は特急列車が停車するがいつまでもそれが期待できるのか、交通の便が良くどこにでも出やすい町、保育園間の拡大を望む、水が美味くない』といった意見があった。

た。県庁職員や支店長からは今まで転勤してきた『坂町の観光地、鹿角市の脱秋田市、五城目町の自然、大森町の福祉活動、羽後町の奇想天外な活動』について報告していただいた。

この町に生まれた人達から



熱心な討論風景

は『国道から離れわかりにくい町といわれる、他町民から憧れる一日市盆踊り、気さくなおばあさんが多い町、女性の服装が他町村よりも派手、床屋の多い町、食べ物屋の少ない町、大潟村の玄関口としての町の有り方』などがあげられた。

あゆかわ氏からはこれから10年間は町がどんどん変

化していくということを念頭に置いて取り組みが要求される」とアドバイスされた。また、氏の鷹角線と秋田新幹線、大館空港を結んだレジャー構想や金浦町の取り組み、仁賀保町の企業への依存問題、河辺町の都市近郊という利便性問題などが紹介された。商工会青年部の次期会長候補に対して、突然来年度の活動予定について発言を求められて当事者は大慌てする場面も。これらの意見をもとに懇親会に入り、互いに意見を交わした。

今日の終了証

次のみなさんに修了証をお渡しすることができました。

桜庭 海人 さん
齋藤 悠貴 さん

今日の行事

3月

27日 秋盛会総会（秋田市）
29日 ロマンの里 清掃ボランティア

4月

10日 男鹿南秋田郡歯会総会
12日 八郎潟中学歯科健診
18日 メビウス5周年記念式典